

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

地域福祉課長 半場 祐子

電話番号

0852-22-5349

事務事業の名称	行旅病人等への支援事業	
目的	(1) 対象	行旅病人等
	(2) 意図	必要な救護等が受けられるようにする。
事業概要	市町村において、行旅病人等に対して必要な援護を行ってもらうため、その取扱費用を弁償する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 行旅病人等の救護率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 費用負担した人数/対象者数	実績値	100.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	349	382
うち一般財源 (千円)	349	382

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

・行旅病人への援護実績は0件、行旅死亡人に対する取扱の費用弁償は4件であり、申請受理後速やかに審査の上費用弁償を行った。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

・特になし

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

・特になし

②困っている状況が発生している「原因」

・特になし

③原因を解消するための「課題」

・特になし

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・今後も、申請を受理後は速やかに費用弁償を行う。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)